

実施計画事業名		一般高齢者介護予防等事業		評価対象年度	平成 23 年度		
評価担当部署		生活福祉部保健課		課長(主幹)名	伊豆 健俊		
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉				
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり				
	施策	2	高齢者福祉を推進します				
	関連施策						
現状と課題	本市の高齢者人口の割合は年々増加傾向にあり、平成22年10月1日時点で24.4%と超高齢社会となってきている。要介護状態等なることなく、いきいきとした人生を送ることができるようにすることが必要である。 また、本市は広い行政面積を持つことから、1ヶ所に集めての介護予防事業は限界があることから、地域住民等の協力を得ながら身近な場所で介護予防事業に参加できるよう各地区での事業展開が必要不可欠である。						
目的	高齢になっても要介護状態等になることなく、いきいきとした人生を送ってもらう						
5ヶ年展の	①一般高齢者(元気な高齢者)に対する介護予防の普及啓発を実施する 各種介護予防教室等の開催、パンフレット・介護予防手帳の配布など ②地域での介護予防活動を支援する 介護予防に関する活動をしてもらうボランティア等の人材養成のための研修の開催や介護予防に資する活動組織の育成・支援のための事業の実施。モデル地区を選定しながら、段階的に実施地区を増やし、全市的に各地区で取り組まれるように支援活動を展開していく。						
成果指標	名称		単位	22年度	23年度	25年度	
	介護予防事業参加人数		人	目標 3,700	3,700	3,700	
説明	介護予防普及啓発各事業(運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防支援、健康教育、健康相談、訪問)への参加者数(各事業実数の合計)			実績 4,335	3,930		
	名称		単位	22年度	23年度	25年度	
説明	町内会等を主体に自主的に介護予防事業に取り組む地区の数		地区	目標 2	3	4	
	モデル地区の数			実績 2	3		
活動指標	介護予防ボランティア講座等参加者数		人	目標 30	40	60	
	介護予防ボランティア講座受講者及び介護予防ボランティア等の活動者数			実績 50	19		
説明	いきがいと健康づくり推進事業実施延回数		回	目標 5	5	5	
	いきがいと健康づくり推進事業として実施した各事業(高齢者体力測定会、健康いきがい講座、高齢者栄養講座等)の延べ実施回数			実績 4	4		
説明				目標 -	-	-	
				実績			
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	2,930	2,545	3,801	
	国庫支出金		千円	778	682	997	
	道支出金		千円	389	341	498	
	起債		千円	0	0	0	
	その他		千円	1,372	1,179	1,808	
	一般財源		千円	391	343	498	
	この事業にかかる職員数		人/年	0.76	0.70	0.83	
人件費(B)		千円	5,161	4,868	5,772		
計(A+B)		千円	8,091	7,413	9,573		
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成22年度から「地域介護予防活動支援事業」が開始され、「介護予防サポーター」を育成し、地域での介護予防の推進を目指す。活動指標の介護予防ボランティア講座等参加者数は、平成23年度ボランティア講座は未実施のため活動者数を記載。						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 進展する高齢化に対応すべく、地域において主体的で多様な介護予防の取組みが望まれる。そのために、介護予防に関する普及啓発や、「介護予防サポーター」の養成の推進など、具体的な地域支援をしていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 細事業の進め方について「b」とする。 介護予防ボランティア講座の開催及び介護予防サポーターの活動機会づくりについて、進め方を検討する。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--